

令和5年度札幌市アイヌ施策年次報告書

札幌市

令和5年度札幌市アイヌ施策の実施状況

札幌市においては、令和3年3月に策定した「第2次札幌市アイヌ施策推進計画」に基づき、基本理念である「アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現」を図るため、以下の施策目標を定め、アイヌ施策推進法の基本理念などを踏まえながら、関係機関等と連携を図り、各種のアイヌ施策を実施している。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類感染症に変更されたことから、中止となっていた事業を再開した。

施策目標1：アイヌ文化の保存・継承・振興

推進施策1：アイヌ文化の継承と人材育成

1 アイヌ文化振興・保存・伝承活動への補助

アイヌ民族の若い世代の交流促進やアイヌの子弟に対する学習会などの学習支援、アイヌ文化に関する啓発活動などといった札幌アイヌ協会が実施する事業に対して補助を行っている。

2 インカルシペ・アイヌ民族文化祭への補助

例年、札幌アイヌ協会が開催するペウレアイヌの集い、ムックリ・トンコリ大会、アイヌミュージックコンサート、アイヌ民族の生活文化や歴史等に関するパネル展示に対し補助を行っている。令和5年度についてはシンポジウム、ペウレアイヌの集い、ムックリ・トンコリ大会、アイヌミュージックコンサートが開催された。

3 アイヌ文化継承関係の担い手育成講座の実施

アイヌ文化の保存・継承・振興に係る活動への意欲喚起及び意欲向上に資する取組として、アイヌにルーツを持つ市民とその家族を対象に、講座「じっくり聞いてみよう！ ～アイヌ文化との関わり・仕事・作品への想い・・・～」を開催した。

(参加者：12人)

推進施策 2 : アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生

1 イオル再生事業の実施

アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生事業として、伝承活動に必要な植物や穀物などの自然素材の育成及び伝統文化の体験講座を実施している。

(1) 自然素材の育成

清田区内の市有地においてヒエ、アワなど 13 品種の自然素材の栽培及び育成管理を行った。

(2) 体験講座の開催

以下の 3 講座を実施した。

ア 民具づくり：2 回（参加者 21 人）

1 回目：ポンサラニプ（樹皮の繊維で作る肩掛けカバン）

2 回目：エムシアッ（刀を肩から下げる帯）風コースター

イ 伝統料理調理：4 回（参加者：54 人）

ウ 子ども遊び（弓矢作り）：2 回（参加者：27 人）

2 アイヌ共用林野設定

アイヌ文化の振興等に利用する林産物を採取するため、南区内の国有林にアイヌ共用林野を設定した。

施策目標 2 : アイヌ民族に関する理解の促進

推進施策 1 : アイヌ民族に関する啓発活動の推進

1 アイヌ文化体験講座（市民向け）の実施

アイヌ文化交流センター、区民センター（中央、東、白石、手稲）、北海道大学構内の各会場にて、刺しゅう、編み物、木彫り等の体験講座を実施した。

年度	開催回数	参加者
R 1	15 回	180 人
R 2	19 回	242 人
R 3	6 回	68 人
R 4	16 回	219 人
R 5	15 回	226 人

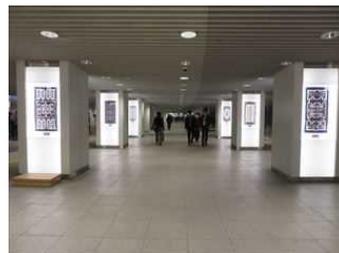


2 大型イベントと連携した情報発信

さっぽろオータムフェストにおいて、アイヌ民族の伝統的楽器の演奏や歌、踊り等を披露した。

3 アイヌアートモニュメントの制作・展示

アイヌ民族の伝統文化に対する理解の促進及び関心の喚起を目的として、アイヌ文様タペストリーをJRタワー1階西コンコース、札幌駅前通地下歩行空間、札幌市役所本庁舎1階ロビー、民間施設等に設置している。



令和5年度においては、公募した市民40名がアイヌ刺しゅう作家による指導のもと、タペストリーを共同制作した。民間施設への設置に向けて調整中。

4 「イランカラプテ」キャンペーンの推進

国や北海道と連携して取り組む「イランカラプテ」キャンペーンの一環として、市役所本庁舎1階ロビーのタペストリー展示什器に、キャンペーンの大型フィルムシートを継続して設置している。

5 アイヌ文化を発信する空間の管理運営

平成31年3月に供用を開始した「アイヌ文化を発信する空間（ミナパ）」を活用し、アイヌ文化への理解を深めるきっかけづくりや、リーフレット等の配架により、道内のアイヌ関連施設の情報発信を行っている。



6 札幌市アイヌ文化PRコーナーの設置

サッポロファクトリー3条館1階の札幌市アイヌ文化PRコーナーに、パネル「札幌の地名とアイヌ民族」や民族衣装等を展示するとともに、アイヌ文化の魅力や市内のアイヌ文化関連施設を紹介するPR動画を放映した。



なお、本コーナーは令和6年2月をもって閉鎖し、令和6年秋に地下鉄南北線大通駅コンコース横に移転開設する予定。

7 埋蔵文化財センターにおける展示（市民文化局文化部）

埋蔵文化財センターにおいて、アイヌ文化期の鉄鍋などの出土資料を展示している。



8 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク（環境局環境都市推進部）

アイヌ文化交流センターを「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」の活動拠点の一つとして位置付け、「オンラインクイズラリー」を実施し、前年度に引き続きアイヌ民族の伝統文化や自然観の普及啓発を行った。

※ 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク

平成25年3月に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、市内にある既存の環境関連施設を生物多様性に関する活動拠点として位置付け、ネットワーク化を図るもので、活動拠点間の情報の共有や連携・協働を進めることにより、生物多様性保全の取組を効果的に進めることを目的としている。

アイヌ文化体験講座

R5(2023)年度							
	講座名		実施日		講師	受講者	会場
1	アイヌ文様 刺繍	カパラミプのタペストリー	6/4	日	2人	17人	交流セ
2		ルウンペのタペストリー	7/23	日	2人	14人	交流セ
3		チヂリのタペストリー	8/5	土	1人	8人	交流セ
4		ポーチ	9/16	土	2人	20人	交流セ
5		テクンペ	10/14	土	2人	21人	交流セ
6		巾着	10/29	日	1人	9人	交流セ
7		カパラミプのタペストリー	12/17	日	2人	18人	手稲セ
8		ルウンペのタペストリー	1/21	日	2人	20人	白石セ
9		チヂリのタペストリー	2/18	日	2人	18人	東セ
【刺繍 計】					16人	145人	
10	編み物	エムシアツ風キーホルダー	11/19	日	2人	18人	中央セ
【編み物 計】					2人	18人	
11	木彫り	鎖彫りのスプーンと果物さし	6/25	日	2人	15人	交流セ
12		ヘアゴム・ペンダント	8/19	土	1人	9人	交流セ
13		ミニお盆	10/21	土	1人	10人	交流セ
【木彫り等 計】					4人	34人	
14	講義等	アイヌ文化を学ぶエコツアー	5/14	日	1人	17人	北大
15		アイヌ民族の歴史と文化	7/6	木	1人	12人	中央セ
			7/13	木			中央セ
16	アイヌ文化を学ぶエコツアー	10/7	土	中止	中止	北大	
【講義等 計】					2人	29人	
合計					24人	226人	

推進施策2：アイヌ民族の歴史の尊重と教育施策の充実

1 小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、小中高校生に伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を実施した。令和2年度から、送迎バスを無料で運行。

年度	参加校数	参加者
R 1	55校	3,715人
R 2	53校	3,989人
R 3	58校	4,204人
R 4	75校	5,600人
R 5	87校	6,452人



2 小中高校生団体出前体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターに来館しての体験プログラムの実施が困難な学校に向いて、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験等を実施。

年度	参加校数	参加者
R 1	35校	2,520人
R 2	59校	4,376人
R 3	65校	4,835人
R 4	62校	4,518人
R 5	64校	4,808人

3 新任課長職への研修の実施

新任課長を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や人権に関する状況、国の動向等について研修を実施した。【市職員研修】

開催日：令和5年11月21日（火）14：15～15：55

開催場所：札幌市アイヌ文化交流センター

参加者：87名

4 新採用職員への研修の実施（総務局職員部）

新採用職員を対象として、アイヌ民族の歴史やアイヌ民族を取り巻く人権に関する研修を実施した（動画研修型）。【市職員研修】

開催日：令和5年4月5日（水）、6日（木）、10日（月）、11日（火）、10月10日（火）

開催場所：職員研修センター及び北海道自治労会館 参加者：439人

5 民族教育の充実（ムックリ体験等）

アイヌ民族の歴史・文化等への興味・関心を高めるために、伝統楽器「ムックリ（口琴）」の体験機会を提供した。

実績：ムックリ8,430個を体験プログラム等に参加した各学校に配布

6 eラーニング教材の提供

アイヌ民族に対する配慮をより適切に行っていくため、歴史・文化、近年の動き、札幌市の取組などを学習するeラーニング教材を引き続き提供した。【市職員研修】（令和5年度受講者数：98名）

7 教育センター専門研修（教育委員会学校教育部）

受講を希望する教職員に対して、アイヌ民族の文化や民族教育に関わる研修を実施した。【市職員（教職員向け）研修】

- ・専門研修「アイヌ文化の基礎」

実施日：令和5年8月17日（木）

会場：札幌市アイヌ文化交流センター（受講者：17名）

令和4年度に実施した「民族教育に関する研修会」と統合して実施。

8 「人間尊重の教育」推進事業（教育委員会学校教育部）

「札幌市学校教育の重点」の基盤に位置付けている「人間尊重の教育」について、3つの視点（「教師自らの人間尊重の意識の向上」、「校種間の連携による連続性のある人間尊重の教育に向けた取組の推進」、「子ども自身が自分を振り返り、人間尊重の意識の高まりに気付く手立ての構築」）に基づいた推進と充実を図った。

- (1) 研究推進校における実践研究の実施

- ・多様性に向き合う学校教育の推進

「多様な性」、「アイヌ民族に関する学習」、「帰国外国人児童生徒支援」の3つのテーマに基づき実践研究を実施し、(アイヌ民族に関する学習：小学校2校) 研究推進校における取組を札幌市ホームページに掲載したり、「人間尊重の教育」フォーラム等の教員研修において情報提供を行ったりした。

- (2) 民族教育の充実に向けてアイヌ民族伝統楽器であるトンコリを貸出
令和5年度貸出実績 10校(237本)

小中高校生団体体験プログラム（小学校 151 校の区ごとの内訳）

【体験プログラム+出前体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	10	20	17	16	10	19	13	18	17	11	0	151
参加率	62.5%	66.7%	60.7%	80.0%	76.9%	86.4%	86.7%	94.7%	85.0%	68.8%	0.0%	74.8%

【体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	4	7	10	8	5	15	3	17	12	6	0	87
参加率	25.0%	23.3%	35.7%	40.0%	38.5%	68.2%	20.0%	89.5%	60.0%	37.5%	0.0%	43.1%

【出前体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	6	13	7	8	5	4	10	1	5	5	0	64
参加率	37.5%	43.3%	25.0%	40.0%	38.5%	18.2%	66.7%	5.3%	25.0%	31.3%	0.0%	31.7%

小中高校生団体体験プログラムの変遷

平成 17 年度 小中高校生団体体験プログラム開始

平成 28 年度 小中高校生団体体験プログラムのバス費用一部負担開始

小中高校生団体出前体験プログラム開始

令和 2 年度 小中高校生団体体験プログラムの無料送迎バス開始

ムックリ無料配布開始

施策目標 3 : 体験・交流の促進

推進施策 1 : 札幌市アイヌ文化交流センターの魅力創出

1 アイヌ文化交流センターの運営

アイヌ文化の保存・継承・振興や、市民理解の促進を図るため、アイヌ文化交流センターで各種事業を行った。

- (1) アイヌ文化体験講座【P2、5】
- (2) アイヌ文化交流センターイベント【P11】
- (3) アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）【P12】
- (4) 小中高校生団体体験プログラム【P6、9】
- (5) 小中高校生団体出前体験プログラム【P6、9】
- (6) wi-fi の運用
- (7) 多言語による展示物説明



ポケトーク（音声翻訳機6台、対象言語50以上）と展示ガイドアプリ（ポケット学芸員）の運用

- (8) アイヌ食文化の発信

レストコーナーに設置した2台のディスプレイにより、身近な「食」からアイヌ文化への興味を喚起するための動画を放映

アイヌ文化交流センターの利用状況

年度	開館日数	来館者数	展示室観覧者数
R 1	270 日	58,241 人	28,494 人
R 2	256 日	26,930 人	10,952 人
R 3	201 日	13,243 人	9,339 人
R 4	288 日	28,458 人	18,802 人
R 5	314 日	41,091 人	24,185 人

2 アイヌ文化交流センターの機能の充実

アイヌ文化を紹介するシステムを更新し、令和6年3月から稼働を開始した。

3 食を通じたアイヌ文化への理解促進

身近な「食」を通じてアイヌ文化への興味を喚起するため、アイヌ文化交流センター内のレストコーナー及び札幌市公式ホームページにおいて、「家庭でできるアイヌ料理」のレシピ動画（12本）を公開するとともに、レストコーナーではリーフレットを配布した。

4 展示物の更新等

へペレセツ(小グマのおり)の建替えを行った。また、イタオマチプの櫛や小刀、ござなど展示室の展示物など、経年劣化等による破損があった展示物の制作を行った。

5 アイヌ文化体験コーナーの設置・運営

アイヌ文化交流センターの来館者が気軽にアイヌ文化に触れることができるよう、30分程度の時間で木彫りや刺しゅう、民族衣装の試着を行うコーナーを運営した。(午前10時～午後4時)

実施 日数	コーナー参加人数			
	刺しゅう	木彫り (コースター)	ストラップ	民族衣装体験
294日	677人	1,096人	1,988人	4,334人

推進施策2：アイヌ文化の体験・交流の機会創出

1 アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、古式舞踊、切り絵製作体験、昔遊び、仕掛け弓の実演等を実施した。

年度	開催回数	参加者
R1	6回	1,464人
R2	中止	-
R3	中止	-
R4	15回	880人
R5	15回	1,285人



2 アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来館者等によるアイヌ民族の古式舞踊（輪踊り）の体験を4年ぶりに実施した。

年度	開催回数	参加者
R 1	1回	103人
R 2	中止	-
R 3	中止	-
R 4	中止	-
R 5	1回	47人



※R2～R4年度は新型コロナウイルスの影響により中止

施策目標 4：産業等の振興

推進施策 1：アイヌ文化のブランド化の推進

1 工芸品等の定期販売会の実施

工芸品の常設販売店の設置に向けて、工芸品の供給体制の強化や人材育成・担い手の確保を目的として、工芸品の販売会を札幌駅前通地下歩行空間、サッポロファクトリーにて開催した。

開催期間、購買者等

年月	開催場所	期間	購買者 (人)
R 5. 8	札幌駅前通地下歩行空間	8月11～17日(7日間)	289
R 5. 9	札幌駅前通地下歩行空間	9月21～26日(6日間)	182
R 5. 10	サッポロファクトリー	10月7～13日(7日間)	23
R 5. 11	札幌駅前通地下歩行空間	11月27日～12月3日(7日間)	202
R 5. 12	札幌駅前通地下歩行空間	12月16～21日(6日間)	191
R 6. 1	サッポロファクトリー	1月6～12日(7日間)	27
R 6. 2	札幌駅前通地下歩行空間	2月22～28日(7日間)	314
延べ購買者数			1,228

2 アイヌ文化のブランド化推進

令和元年度、令和4年度に制作したアイヌ文化PR動画を、ミナパやアイヌ文化PRコーナー、アイヌ工芸品販売会で放映し、アイヌ文化の魅力や市内のアイヌ文化関連施設を紹介した。



推進施策2：アイヌ文化に関する観光プロモーションの推進

1 ウポポイを活用したアイヌ文化の発信

アイヌ民族に関する理解の促進に向け、アイヌ文化交流センター及びウポポイを訪れる観光プロモーションとして、バスツアーを計30回実施した。(参加者：1,101人)

2 「シーニックバイウェイ北海道」との連携（南区市民部）

南区内の約40団体（連合町内会、商店街、大学、集客施設等）により構成され、南区の魅力アップとPRを行っている「札幌シーニックバイウェイ」の活動を支援した。

取組の一環として、アイヌ文化交流センターが掲載されている札幌シーニックバイウェイ作成のパンフレット「感動・寄り道 GUIDE」を南区内の公共施設等にて配布した。

施策目標5：生活関連施策の推進

推進施策1：生活環境等の整備

1 住宅新築資金等の貸付

アイヌ民族の居住環境の整備・改善のため、住宅の新築・改修、宅地取得等の資金を準備した。(新規貸付なし)

2 アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置（市民文化局市民生活部・教育委員会学校教育部）

アイヌ生活相談員2名、教育相談員1名を配置し、各種相談に対応している。

- (1) 生活相談員相談件数：1,311件
- (2) 教育相談員相談件数：602件

3 アイヌ民族の児童・生徒への学習支援

アイヌ民族の児童・生徒に対し、夏休み・冬休み期間に各5日間の学習支援を行っている。（参加者：延べ27人）